



未来研
並木 一寅
議員

有害鳥獣対策・対応について

問 今年度、箱わなは何台購入しましたか。

答 経済環境部長 イノシシを捕獲する大型箱わなを2台、アライグマやハクビシンを捕獲する小型わなを16台購入しています。

問 くくりわなは、何セット購入しましたか。

答 経済環境部長 今年度は、70セット購入しています。

問 箱わなの実績は、どうでしたか。

答 経済環境部長 今年度、イノシシが8頭、アライグマが23頭、ハクビシンが10頭、タヌキが8頭捕獲されました。

問 くくりわなの実績は、どうですか。

答 経済環境部長 イノシシが12頭捕獲されています。

問 有害鳥獣の止め刺しや殺処分を猟友会にお願いするにあたり、現在どのような形でお願いしていますか。

答 経済環境部長 市では本年度から、猟銃の弾薬や交通費など、1頭当たり5千円の委託料をお支払いしています。

問 今後、有害鳥獣の報償金のあり方として、県補助金であります「野生獣管理事業補助金」、国の交付金である、「鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業交付金」がありますが、こういったものを

利用しなければならぬと思えますが、今まで、こういった県の補助金、国の交付金を知っていて申請しなかったのか、また、知らなかったのかお聞きします。

答 市長 国全体の問題として、市長会の中でも、この問題が話題としてでます。その中でも、国の交付金、県の補助金をはじめて聞きました。

問 この国・県補助事業を知ったのであれば、すぐ行動に移しますか。

答 経済環境部長 補助金制度については、今後検討していきたいと考えています。

問 有害鳥獣に対応する職員の人数は、足りていますか。

答 経済環境部長 イノシシ対策に重点を置かなければいけないという中では、不足気味で

はないかと感じています。

問 わなの貸し出しについては、農業者優先であることはわかりますが、民間、特に市内のゴルフ場等へのわなの貸し出しは、ほぼ、農地が隣にあることが現状であるので、農業者と共生していくためには、ゴルフ場などにも、わなを貸し出す懐の広さが必要と考えますが、どのように考えていますか。

答 経済環境部長 駆除対策については、市全体で行うことができ

れば、有効と思えます。地域ぐるみの鳥獣被害対策の推進においても、農業者以外に、ゴルフ場を含む民間の方でも、駆除するために捕獲器を使用したいということであれば、対応したいと思えます。

しかしながら、ゴルフ場を含む民間などの場合には、その敷地内でも大型箱わなを設置するには、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」により、鳥獣の捕獲等鳥類の卵の採取等に関する許可が必要となります。また、鳥獣の捕獲については、わな猟や銃猟などの狩猟免許も必要になってくるので、誰もが捕獲器を設置して、鳥獣を捕獲することはできません。ゴルフ場を含む民間の方が、適正に手続きを行った上で、捕獲器の貸し出しを希望されるというのであれば、対応できると思いますので、貸し出しのルール等を検討していきます。



箱わなで捕獲されたイノシシ



くくりわなで捕獲されたイノシシ